

図書館通信

4月

のイベント

イベントの開催については、感染症対策を講じながら安全にできるよう配慮しております。※状況により変更・中止する場合があります

★季節の工作「カラフルこいのぼりを作ろう」

日時：4月18日（日）14:00～（1時間半程度）

場所：2階 企画研修室

対象：小学生まで（3年生以下は保護者同伴）

定員：5組 ※定員になり次第しめ切ります

内容：絵を描いたり色を塗ってオリジナルのこいのぼりを作ります。

申込み：カウンターまたはお電話

受付期間：3月20日（土）～



★子どもの読書週間イベント

4月23日（金）～5月12日（水）

●本のお楽しみ袋

期間：4月23日（金）～セットがなくなり次第終了

内容：ひとり1袋借りられます。どんな本が出るかは借りてからのお楽しみ！

●図書館でガチャ

「仮装いっとくん缶バッジプレゼント」

期間：5月1日（土）～なくなり次第終了

内容：期間中、資料を3点以上借りるとガチャにチャレンジできます。数量限定ですのでお早めに！

●しょうちゃんと遊びま専科

「コロナ撃退室内ゲーム」

日時：5月1日（土）14:00～（1時間半程度）

場所：2階 企画研修室

対象：小学生まで（3年生以下は保護者同伴）

定員：5組 ※定員になり次第しめ切ります

内容：手作りのボードゲームで楽しめます。頭を使ってウイルスを撃退できるかも？

申込み：カウンターまたはお電話

受付期間：4月1日（木）～

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380



市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

TEL 0285-68-4380

URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホームページはこちら



ツイッターでも情報配信中！

市貝町立図書館 『いっとくん』

@ittokun_ichikai



★開館時間 9:30～19:00★

3月より通常の開館時間となりました。状況により変更することもあります。

ホームページやtwitterでも情報を更新しています。



★視聴覚資料の貸出について★

4月より、視聴覚資料（CD・DVDなど）の貸出期間・貸出点数が変更になりました。

貸出期間：2週間（本と同じ）

貸出点数：CD・DVD・ビデオそれぞれ2点まで（最大6点まで）

返却については、破損防止のためこれまで通りカウンターにお願いします。

★感染症対策にご協力をお願いします★

感染症対策のため、一部サービスのみとさせていただきます。変更・再開するときには、ホームページやtwitterで随時お知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



図書館カレンダー

4月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30※	

…休館日 ※…月末資料整理休館日

5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

今年の本屋大賞はどの作品???

4月14日(水)に、2021年本屋大賞が発表されます。候補作の中からどの作品が受賞するか予想しながらぜひ読んでみてください。

- 「犬がいた季節」 伊吹 有喜//著(双葉社)
- 「お探し物は図書室まで」 青山 美智子//著(ポプラ社)
- 「推し、燃ゆ」 宇佐見 りん//著(河出書房新社)
- 「オルタネート」 加藤 シゲアキ//著(新潮社)
- 「逆ソクラテス」 伊坂 幸太郎//著(集英社)
- 「この本を盗む者は」 深緑 野分//著(KADOKAWA)
- 「52ヘルツのクジラたち」 町田 そのこ//著(中央公論新社)
- 「自転しながら公転する」 山本 文緒//著(新潮社)
- 「八月の銀の雪」 伊与原 新//著(新潮社)
- 「滅びの前のジャングリラ」 凧良 ゆう//著(中央公論新社)

本の除菌機が入りました

本の除菌機が入りました。紫外線による除菌・送風によるほこり取り・消臭抗菌ができます。



1回(30秒)で6冊まで除菌できます。ご自由にお使いください。使い方が分からないなどございましたらスタッフまでお声がけください。

これまでの本屋大賞で好きな本~受賞作・候補作の中から~

「謎解きはディナーのあとで」

東川 篤哉//著
(小学館)

中村佑介氏の描く表紙イラストが動くCMを覚えている人もいるかもしれません。さらにドラマ化もされたことで知名度の高い本屋は、第8回(2011年)の本屋大賞受賞作品です。

謎解きとタイトルにある通り、不可解な事件の謎を紐解き真相に迫るのは、令嬢であることを隠しながら刑事として働く主人公「麗子」ではなく、その執事「影山」。影山は、麗子が漏らした事件のあらましから推理して、あっという間に謎を解いてしまいます。

クールで毒舌な執事と勝負なお嬢様のやり取りがテンポよく、気軽に読める一冊です。

「昨夜のカレー、明日のパン」

木皿 泉//著
(河出書房新社)

結婚からたった二年で夫を亡くしてしまった嫁のテツコは、義父と一緒に暮らしている。家族ではあるが、血のつながらない「他人」という微妙な関係だけれど、ほっこりとしたやりとりが特徴的。登場人物がみんな愛らしい。変化は不安もあるけど喜びもあることを思い出させてくれる1冊です。

2014年本屋大賞ノミネート作品になりTVでもドラマ化されました。「世の中、あなたが思っているほど怖くないよ。大丈夫」この言葉が印象的です。ありふれた日常は、実は当たり前にあるものではなく長い年月をかけて作り上げたものであり、その大切さを知ったような気がします。

しゅうちゃん の ひとりごと



朝日新聞の投書コラム欄に東京メトロ銀座線の出来事が掲載されていました。その内容を要約すると「開いたドアから四脚ステッキを持つ1人の女性が乗車。ロングスカートから隠れていたが、歩き方から左脚に固定具を付けているのがすぐ分かった。優先席と書かれたえんじ色のシートには、既に左右合わせて8人の男女が座っているが、誰一人として席を譲ろうとしない。いや、誰も気づかなかったというのが正解だったかもしれない。全員がスマートフォンの画面を見つめ、器用なまでに指先を動かす。電車のドア近くで揺られていた女性は4つ目の駅で降りて行った。」この記事を読んだとき、小さい頃先生から教えていただいた社会評論家の大宅壮一氏の「一億総白痴化」の言葉を思い出した。それは「テレビばかり見ていると人間の想像力や思考力を低下させてしまう」と警鐘を鳴らし話題となった。スマホという文明の利器は思考どころか周りへの注意力や気配りさえも奪ってしまいました。昔、先生から教えていただいたかつての流行語は今こそ当てはまるような気がしてなりません。私が小さい頃は、お年寄りや病人・妊婦さんに席を譲るのは当たり前だと思っていました。なぜなら周りの大人たちはみんなそうしていたから。子どもたちはその行動を見て学んできました。

お問い合わせ ☎68-4380

スタッフのおすすめ

スタッフのおすすめ